

# 敷地境界における追加的実効線量 (評価値) について

2015年6月25日  
東京電力株式会社



## 平成27年3月末における敷地境界実効線量 (評価値)

- ✓ 平成27年3月31日に実施計画変更認可申請書を提出。評価値：約1.79mSv/年  
(RO濃縮水貯槽：約0.9mSv「簡易評価」、RO濃縮水貯槽以外：約0.89mSv/年)
- ✓ RO濃縮水貯槽について詳細評価を実施し、平成27年6月8日に補正申請書を提出。  
評価値：約1.44mSv/年 (RO濃縮水貯槽：約0.56mSv「詳細評価」、RO濃縮水貯槽以外：約0.89mSv/年)
- ✓ このため、平成27年3月末における敷地境界の追加的実効線量は、**制限値2mSv/年を達成**と評価している。

		評価値	
		H27年3月31日申請	H27年6月8日補正申請
RO 濃縮水貯槽 以外	気体廃棄物	約0.03mSv/年	約0.03mSv/年
	固体廃棄物及び設備 (直接線・スカイシャイン線)	約0.56mSv/年	約0.56mSv/年
	構内散水	約0.075mSv/年	約0.075mSv/年
	液体廃棄物等	約0.22mSv/年	約0.22mSv/年
	小計	約0.89mSv/年	約0.89mSv/年
RO濃縮水貯槽		約0.9mSv/年*	約0.56mSv/年
合計		約1.79mSv/年	約1.44mSv/年

※簡易評価値

(注) 四捨五入した数値を記載しているため、合算値が合計と合わない場合がある。